

# 裁判員等経験者意見交換会開催概要

松江地方裁判所

裁判員等経験者の皆様との意見交換を通じて、分かりやすい審理の在り方を検討し、今後の裁判員制度の運用の参考とするため、意見交換会を実施しました。

御参加いただいた裁判員等経験者の皆様の御意見や御感想は次のとおりです。



開催日：令和5年3月15日（水）

参加者：裁判員等経験者4名、裁判官2名、検察官1名及び弁護士1名

## 1. 審理の在り方について

（冒頭陳述について）

- 分かりにくい点はなかった。被告人の生活事情やこれまでの人生の出来事など細かく陳述があり、被告人のことをよく知ることができた。事件のことだけでなく被告人の人生の歩みを知ることによって、事件の背景をより想像しやすくなった。
- 何もかも初めてのことで、聞いているだけで精一杯だった。
- 分かりやすいよう主張を対比されていたが、もう少し工夫したほうが分かりやすいと思う。
- 一般的な知識のない犯罪については、この犯罪が他の犯罪と比べてどの程度罪が重いかなどは、想像がつきにくく、法廷で事前に基本的な説明があってもよかったと思う。

（証拠調べについて）

- 証人尋問などで、その場で答えを聞けるのはよかった。ただし、それが本当のことなのかを見極めるのはすごく難しく、その後の評議が重要だと感じた。
- 供述調書よりも、法廷で実際に被告人の話を聞くほうが頭に入りやすかった。

（論告・求刑について）

- 裁判官から色々説明をしてもらっていたので、論告・求刑については、比較的すっと腑に落ちた。

## 2. 評議の在り方について

- 恥ずかしいという思いもあり、尻込みしてしまうこともある。順番に意見を聞くなどしてもらったほうが意見が言いやすいと思う。
- あまり発言をしない人も意見を言いやすいように方法を工夫して評議が行われていたので、とても良かった。
- 色々な職業の人が参加することで、色々な視点が生まれるのが裁判員制度だと思う。裁判官としても新鮮な意見があったのではないかな。裁判官が裁判員の意見を参考にしながらまとめていくところが良かった。

### 3. 裁判員裁判に参加した感想や印象

(感想・印象)

- 最初は少し嫌だなと思っていたが、今はすごく良い経験になったと感じている。親しい人にも機会があれば是非参加したほうが良いと勧めている。
- 誰かの人生を左右するということにプレッシャーを感じたが、誰にでもできるものではないし、積極的に参加したいと思って臨んだ。結論に向かって皆で協議し、非常に濃い時間を過ごすことができたと思う。
- 以前は裁判員裁判に関心がなかったが、裁判員を経験して裁判の流れが分かり、思っていたよりも長い時間をかけて慎重に進められているのだなという印象を持った。裁判員裁判に参加した後は、裁判報道を見ても、求刑や判決に至るまでの背景についてより深く考えるようになった。

(裁判の日程について)

- ある程度の余裕があり適切だったと思う。初日から裁判が始まるので、これ以上短くなると自分の理解が追い付かないと思う。評議もある程度の時間的な余裕があるほうが良い。

(職場の休暇制度について)

- 裁判員裁判に参加することに問題はなかったが、他の裁判員等のなかには特別休暇を取得できた人もいたので、会社によって違いが生じるのではなく、全ての会社で裁判員休暇制度が導入されるようになると良いと思う。

### 4. 裁判員制度の周知について

- 参加するまでは裁判員制度について全く分かっておらず、また、職場の上司も何をするのか知らなかった。認知度は、まだまだ低いと思う。
- 裁判員に選ばれることがあるかもしれないということを義務教育のうちから学んでいくことが必要だと思う。
- 実際に裁判を傍聴してもらうのが一番良いのではないかと思う。例えば、学校の先生に裁判を傍聴してもらい、その経験を生徒に伝えてもらってはどうか。

御参加いただいた皆様、  
貴重な御意見をいただき大変ありがとうございました。  
皆様の御意見を今後の裁判員裁判に活かしていきたいと思います。

